

(3) 第三回放流調査

ボトルの放流

第二回調査においても漂流ボトルは短期間に漂着したことから、同日に回収された76本を用い、第二回調査と放流点近傍にて第三回の放流を実施した(表6)。放流方法は、第二回同様、漂流ボトル一本ずつ、河川の流心に投げ入れる方式とした。

表6 漂流ボトルの放流状況(山形: 第三回調査)

放流日時	放流時刻	緯度	経度	風向	風速
平成19年12月17日	10:40~10:50	38-50-52.43	139-47-05.40	東南東	2.6m/s

ボトル漂着状況

放流後当日、2日目、3日目、7日目において、袖浦橋上流300m~河口(0.9km)、河口~十里塚地区(3km)、河口~浜中地区(1.5km)の区間について踏査し、ボトルの漂着状況の確認および回収を行った。

表7に漂流したボトルの回収本数を示した。放流したボトルは第二調査同様、河川の流れに乗り河口から200m程度沖合まで出ていったが(図11)、その後すぐに波に押し戻され、放流後1時間以内に66本のボトルが河口から突堤(河口から150~200m程度北)間の砂浜に漂着した。ただし、目視において突堤により北に移動したボトルが数本確認され、これらのボトルのうち8本は突堤より北の砂浜に漂着したことが確認されている(図12)。

表7 漂流ボトルの回収状況(山形: 第三回調査)

放流	調査員による回収分				地元の方による回収分	回収本数計	未回収本数
	12月17日	12月18日	12月19日	12月25日			
76	73	0	0	0	1	74	2

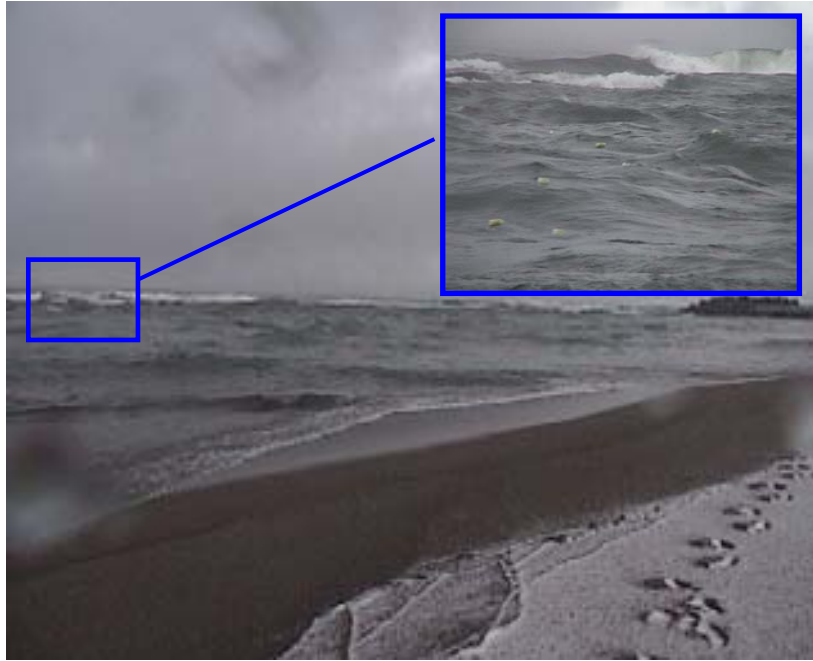


図 11 漂流ボトルの漂流状況

(放流後、漂流ボトルが沖に向かって流れている状況：平成 20 年 12 月 17 日撮影)



図 12 回収した漂流ボトルの分布 (山形：第三回放流調査)

2 定点観測調査

2.1 目的・内容

2.1.1 飛島西海岸

飛島西海岸クリーンアップ調査期間におけるモデル地区のゴミ漂着状況を補完するため、渚の鐘（St.1）と荒崎（St-2）の2地点を対象に、8月20日より、毎週1回を原則として写真撮影を実施した。撮影は、平成19年8月20日～10月29日まで（柗みなどに11月からは島内の沢口様（個人）に依頼し実施して頂いている。

- ・ 撮影者：株式会社みなど（平成19年8月20日～10月29日）
沢口様（平成19年11月6日～）



図13 飛島西海岸定点撮影地点

2.2 赤川河口部

赤川河口部クリーンアップ調査期間におけるモデル地区のゴミ漂着状況を補完するため、定期的に赤川の袖浦橋上流側の左岸、中央、右岸の3点でビデオ撮影（現在、編集集中）および袖浦橋付近の右岸（St.1）、河口付近の右岸（St-2）、クリーンアップ調査での10m枠設置場所の赤川側（St-3）と十里塚側の（St-4）の4点を対象に、8月21日より毎週1回を原則として写真撮影した。撮影は、東北緑化保全株式会社に依頼し、実施して頂いている。

- ・ 撮影者：東北緑化保全株式会社（平成19年8月21日～）



図14 赤川河口部定点撮影地点（左：ビデオ、右：写真）

1. 調査結果

2.1 飛島西海岸 定点撮影画像一覧

渚の鐘 (St. 1) から撮影した定点撮影画像を以下に示した。(平成 19 年 8 月 20 日)



荒崎 (St-2) から撮影した定点撮影画像を以下に示した。(平成 19 年 8 月 20 日)



2.2 飛島西海岸 定点撮影結果

平成19年8月20日～平成20年1月28日までの定点撮影結果を以下に示した（平成19年8月20日～10月29日は第2回地域検討会にて報告済み）。

荒崎 St-2 定点写真



8月20日



9月12日



8月26日



9月20日



9月4日



9月25日



10月2日



10月29日



10月9日



11月5日



10月16日



11月13日



10月23日



11月24日



11月27日



12月23日



12月3日



12月28日



12月11日



1月5日



12月17日



1月12日